厚生労働省
大分労働局

Press Release

令和３年 11 月 30 日
【照会先】
大分労働局 労働基準部
健康安全課長　利光 俊浩
地方産業安全専門官　小野伸太郎
電話 ０９７-５３６－３２１３

報道関係者　各位

「年末年始無災害運動」が始まります

～ 年末年始も 安全作業 あなたが無事故の キーパーソン ～

大分労働局（局長 中山晶彦）は、令和３年 12 月１日から令和４年１月 15 日までの期間、「Safe Work OITA 令和３年度年末年始無災害運動」を展開し、大分県内の年末年始の労働災害防止に取り組みます。

１　趣旨

大分県内における令和２年の労働災害による休業４日以上の死傷者は、前年から 20 人（1.6%）増加して 1,290 人で、そのうち死亡者は 13 人でした。また、令和 3 年（10 月末現在）の死傷者数は、前年同期比で 16.3%増加し、死亡者は 10 人となっています。製造業や建設業の死傷者が前年から減少している一方で、商業（小売業等）、保健衛生業（病院、社会福祉施設等）及び接客娯楽業（旅館業、飲食店等）における死傷者の大幅な増加がその原因となっています。

感染症対策を講じながら迎える年末年始は、慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるため、各事業場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非定常作業における安全確認の徹底などに全員で取り組むことが一層重要になります。

そこで、本年度の年末年始無災害運動は、「年末年始も 安全作業 あなたが無事故の キーパーソン」をスローガンに展開します。

２　実施期間

令和３年 12 月１日から令和４年１月 15 日までの間

３　実 施 者

県下各事業場、労働災害防止団体、事業者団体、公共建設工事発注機関

４　大分労働局、労働基準監督署の実施事項

（１）労働局長による安全パトロール
（12 月１日、令和２年７月豪雨復旧工事現場で実施。11 月 25 日発表資料参照。）
（２）労働災害防止団体、事業者団体、公共建設工事発注機関に対する文書要請
（３）労働災害防止団体等との合同安全パトロール等
（４）ホームページ等を通じての周知
（５）リーフレット、のぼり、卓上ＰＯＰ等の頒布
（６）集中的な監督指導、安全パトロール等

（別添「年末年始無災害運動実施要領」参照）

Safe Work OITA 令和３年度

年末年始無災害運動 実施要領

12 月 1 日 ▶▶▶ 1 月 15 日

1　趣旨

大分県内における労働災害は長期的には減少しているものの、近年は増減を繰り返し、明確な減少傾向は認められない。令和２年の休業４日以上の死傷者は前年から 20 人（1.6%）増加し、1,290 人で、そのうち死亡者は 13 人であった。

また、令和３年（10 月末現在）の休業４日以上の死傷者数は、前年同期比で 16.3%増加となっている。製造業や建設業の死傷者が前年から減少している一方で、商業（卸売業、小売業等）、保健衛生業（病院、社会福祉施設等）及び接客娯楽業（旅館業、飲食店等）の第三次産業における死傷者の大幅な増加がその原因となっている。

第三次産業の労働災害を事故の型別にみると「転倒」、「動作の反動・無理な動作」、「その他（主として感染症によるもの）」が上位を占めている。

今後、事業者には、引き続き感染症対策を徹底しながら事業活動を軌道に乗せていくことが求められ、これまでとは異なる「新しい生活様式」の下で、労働者が生産性を高めつつ、安全かつ健康に働くことのできる職場環境・体制を早急に整備することが重要となる。

感染症対策を講じながら迎える年末年始は、慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなる。各事業場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非定常作業における安全確認の徹底、高所作業で使用するフルハーネス型墜落制止用器具の整備を含めた保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに全員で取り組むことが一層重要となる。

このような状況を踏まえ、本年度の年末年始無災害運動は、

年末年始も　安全作業
あなたが無事故の　キーパーソン

を標語として展開することとする。

2　実施期間

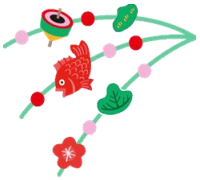
令和３年 12 月１日から
令和４年１月 15 日まで

3　主 唱 者

大分労働局

4　実 施 者

県下各事業場
労働災害防止団体



5　主唱者の実施事項

（１）労働局長による安全パトロール（12/１）
（２）労働災害防止団体、事業者団体、公共工事発注機関に対する文書要請
（３）労働災害防止団体等との合同安全パトロール
（４）ホームページ、報道機関等を通じての周知
（５）リーフレット、のぼり等の頒布
（６）集中的な監督指導、安全パトロール

6　労働災害防止団体等の実施事項

（１）本運動の会員事業場への周知、徹底
（２）各種労働災害防止用リーフレット、のぼり等の配付
（３）安全大会の開催や安全パトロール

7　事業場の実施事項

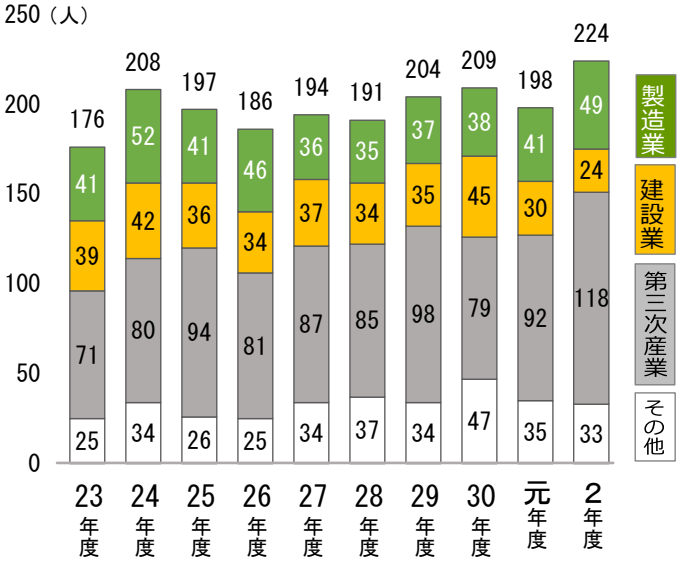
（１）経営トップによる安全衛生方針の決意表明
（２）リスクアセスメントおよび労働安全衛生マネジメントシステムの導入・定着
（３）ＫＹ（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
（４）機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
（５）安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
（６）「令和２年７月豪雨」に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
（７）転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
（８）化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
（９）金属アーク溶接等作業における健康障害防止対策の実施
（10）火気の点検、確認など火気管理の徹底
（11）交通労働災害防止対策の推進
（12）安全衛生パトロールの実施
（13）年末時期の大掃除等を契機とした５Ｓの徹底
（14）年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
（15）過重労働をしない・させない職場環境づくり
（16）高年齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食生活、運動等）に関する健康指導などの実施
（17）新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症拡大防止対策の徹底
（18）職場のハラスメント防止につながる取組の推進
（19）安全衛生旗の掲揚および年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
（20）その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

大分県の労働災害発生状況

※出典は労働者死傷病報告及び死亡災害報告。
※新型コロナウイルスり患者を除く。

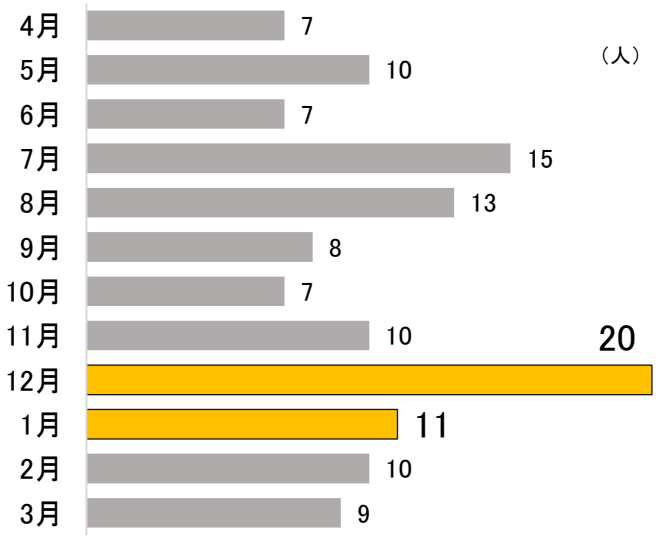
過去 10 年　年末年始の労働災害｜全産業

※12/1～1/31 の間に発生した休業 4 日以上の集計



☞年末年始の死傷者数は、毎年 200 人前後で推移しており、減少傾向はみられません。

過去 10 年　月別死亡労働災害｜全産業



☞過去 10 年の年末年始期間中、労働災害により 31 人の方々が亡くなっています。

☞12 月は 1 年の中で、最も多く死亡労働災害が発生しています。

令和３年　死亡労働災害一覧｜全産業

※令和 3 年 11 月 9 日現在

No.	発生月 時間帯 業種	性別	職種	経験 事故の型 起因物	災害発生状況
1	2月 20 時台 建築工事業	男	築炉工	13 年 崩壊、倒壊 建築物、構築物	混銑車（銑鉄搬送用貨車）の修理作業において、混銑車内部の耐火レンガが崩落し、その下敷きとなったもの。
2	4月 17 時台 その他の建設業	男	作業員	31 年 墜落、転落 はしご等	個人住宅の２階屋根（軒下高さ 4.6m）に設置している太陽熱パネルの点検作業後、同屋根上から、はしごを使って下りていたところ、地面に墜落したもの。
3	4月 2 時台 道路貨物運送業	男	運転手	13 年 交通事故（道路） トラック	大型トラックで高速道路を走行中、追突事故を起こした前方車両に追突したもの。
4	7月 14 時台 その他の事業	女	警備員	17 年 はさまれ、巻き込まれ トラック	ガス管の布設工事において、後退していた 3 トンダンプトラックの右後輪にひかれたもの。
5	7月 10 時台 その他の製造業	男	整備士	26 年 激突され 立ち木等	林業機械の整備のために出張した木材伐採現場内を歩いていたところ、伐倒木（約 60 年生スギ、樹高約 32m）が頭部に激突したもの。
6	8月 10 時台 道路貨物運送業	男	運転手	8 年 飛来、落下 木材、竹材	原木を積んだトレーラーの荷締機を緩めたところ、原木（長さ 3.8m、直径 35 ㎝）1 本が落下し、頭部に直撃したもの。
7	8月 15 時台 化学工業	男	作業員	3 年 有害物等との接触 有害物	排ガス処理設備の洗浄塔（高さ 9.4m、内径 3.2m）のマンホールを開けてシャワーノズルの通水確認をしていたところ、マンホールから 1.5m 下の洗浄塔内で倒れているところを発見されたもの。洗浄塔内部から硫化水素が検出された。
8	9月 8 時台 土木工事業	男	作業員	2 年 はさまれ、巻き込まれ 移動式クレーン	積載型トラッククレーン（つり上げ荷重 2.9 トン）で、栗石を詰めたネット（重さ約 1.7 トン）をつり上げて旋回中に、当該積載型トラッククレーンが助手席側に倒れ、操作者が車体と地面との間に挟まれたもの。
9	9月 13 時台 建築工事業	男	作業員	20 年 交通事故（道路） トラック	道路脇に停めた車から降りたところ、後方から走行してきたトラックにはねられたもの。
10	10 月 4 時台 道路貨物運送業	男	運転手	30 年 はさまれ、巻き込まれ トラック	トレーラーの連結作業中、連結車両が無人の状態で前進し始めたため、車両を停車させようとして、当該連結車両とガードレールの間に挟まれたもの。